

UNITE
FOR
GOOD

Rotary

ロータリー2025～2026年度

UNITE FOR GOOD

よいことのために手をとりあおう

第2840地区 2025～2026年ロータリーのテーマ

館林ロータリークラブ会報

R.I加盟承認1958年6月2日

Club ID 13956

2026年3月13日(金) 第3272回例会報告 (No, 30)

点 鐘・ソング 奉仕の理想

— 会 長 挨拶 —



本島 克幸 会長

一昨日の3月11日、東日本大震災からちょうど15年が経過いたしました。今なお故郷に戻ることが叶わず、避難生活を送られている方々にとっては、決して「過去のこと」ではないはずです。

特に福島第一原発事故の影響は今も色濃く残っており、除染作業や廃炉への道のりなど、復興はまだ「道半ば」であるという現実を、私たちは改めて重く受け止める必要があります。15年という節目を、単なる通過点ではなく、風化させないための「再確認の日」として心に留めておきたいものです。

さて、話題を変えまして、本日3月13日、1988年の今日、青函トンネルが開通いたしました。本州と北海道を鉄道で結ぶ、世界最長の海底トンネルの完成です。構想から完成まで半世紀近い歳月をかけ、厳しい自然環境と戦いながら掘り進められたこのトンネルは、まさに当時の人々の「情熱と技術の結晶」と言えるでしょう。今では新幹線が走り、北の大地をより身近なものにしてくれています。

そしてもう一つ、群馬県民にとって非常に馴染み深い「ペヤングソースやきそばの日」でもあります。伊勢崎市に本社を置く「まるか食品」が、1975年の今日、この看板商品を発売されました。「ペヤング」とい

う名前は、「ペア」と「ヤング」を合わせた造語だそうです。発売当時、カップ麺はまだ高価な食べ物でした。「若いカップルに、二人で一つのを仲良く分け合って食べてほしい」という、当時の開発者の温かい願いが込められているそうです。青函トンネルという巨大なインフラが、物理的に人と人を「つなぐ」ものであれば、ペヤングの「分け合う」という発想は、心と心を「つなぐ」ものだと言えるかもしれません。

15年前の震災で私たちが学んだのも、やはり「人と人とのつながり」の大切さでした。困難な状況にある方々を思いやる気持ちと、日々の暮らしの中にある小さな喜びや、地域の誇りを大切にすること。そんな姿勢を持って、私たちもこの館林の地で、しっかりと歩みを進めていければと思います。

— お 客 様 の ご 紹 介 —



助成金制度推進センター

高橋 和宏様

杉本 祥伸様

米山奨学生 シェルパ・ニマ・テンディ 様

— 米 山 奨 学 生 換 撈 —



米山奨学生 シェルパ・ニマ・テンディ 様

皆様こんにちは。まず初めにこの2年間、支えてくださったロータリークラブの皆様にご心より感謝申し上げます。例会に参加するたびに、皆様に温かく迎えてくださり、励ましの言葉であったり、アドバイスをいただきました。本当にありがとうございました。

私が日本に来たのは大学で学び、自分の夢を実現するためでした。しかし、日本に来た際、日本語と文化の違いは自分にとって結構不安でありました。日本に慣れるまでは決して簡単ではありませんでした。

そのような中、ロータリークラブの皆様と出会い、例会や交流を通し、多くの方から温かい言葉をかけてくださり、それが私にとってはとても支えになったと感じています。私が安心して日本で生活し、研究や勉強、学びに集中することができたのは皆様のおかげです。また、ロータリーを通じて学んだ日本の文化、ロータリーの奉仕の活動は自分にとって印象的でした。その考え方も自分のためではなく、社会のため、誰かのために動くことをこれからも大切にしていきたいと考えています。

大学では卒業研究に取り組んできました。私の研究テーマはネパールの住所問題に対応するデジタル住所について研究をしていました。ネパールですと正式な住所が完全に整備されていないという課題がありまして、経済面、社会面でも多くの課題がありまして、これに対応するために世界に使用されているデジタル住所を導入することを研究してました。

将来、ロータリーで学んだ、人のために行動することを忘れずに、自分も誰かのことを支えられるような人間になりたいと思ってます。まずは東京で就職し、新しい生活が始まりますが、群馬で学んだことを生かし、一生懸命頑張っていきたいと思っております。最後になりますが、この2年間本当にありがとうございました。

ました。皆様の温かいご支援と言葉がありまして、無事に卒業できたと思っております。今後も皆様のご健康とロータリークラブのご発展を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

— ロータリー財団認証品授与 —



ポールハリスフェロー 正田 隆 会員

— 会 務 報 告 —

本島 克幸 会長

- R 8. 3. 7 (土) 第1回ガバナー補佐・委員長合同会議
 参加者 小暮 雅丈 於・高崎商工会議所
 R 8. 3. 7 (土) 米山記念奨学生終了式・
 歓送会 於・ホテルメトロポリタン高崎
 参加者 齊藤 一則
 米山記念奨学生 シェルパ・ニマ・テンディ



今後の予定

- R 8. 3. 14 (土) 青少年交換委員会・クラブ
オリエンテーション
対象者 荒木千津子 於・前橋問屋センター会館
- R 8. 3. 15 (日) ~ 16日 (月)
会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー
対象者 小暮 雅丈・山本 樹・中世 吉昭
於・磯部ガーデン
- R 8. 3. 19 (木) 館林つつじサポーターズ
倶楽部通常総会
対象者 本島 克幸 於・館林市文化会館
- R 8. 3. 20 (金) 新会員セミナー
於・エテルナ高崎
対象者 松本 隆志・田中 聡美・新井 律子
- R 8. 3. 23 (月) 館林市緑化推進委員会
対象者 関口 昇 於・館林市役所
- R 8. 3. 24 (火) 本島年度第3回親睦
ゴルフコンペ 於・倶楽部我山
- R 8. 3. 26 (木) 館林市健康づくり推進
懇話会
中世 吉昭 於・館林市保健センター
- R 8. 4. 11 (土) 第3回地区補助金予備
審査会
対象者 山本 樹 於・前橋商工会議所会館
- R 8. 4. 11 (土) 桐生南RC創立
60周年記念式典 於・美喜仁桐生文化会館
- 対象者 本島 克幸・藤島 厚
- R 8. 4. 12 (日) 沼田中央RC創立40
周年記念式典 於・ホテルベラヴィータ
- 対象者 本島 克幸・藤島 厚
- R 8. 4. 16 (木) 第4回公共イメージ・
ICT推進委員会
対象者 長柄 光則 於・ガバナー事務所
- R 8. 4. 19 (日) 高崎シンフォニーRC
創立30周年記念式典
対象者 本島 克幸・藤島 厚
於・ホテルメトロポリタン高崎
- R 8. 4. 22 (水) 第4分区A・B9RC
親睦チャリティゴルフ大会 於・鳳凰ゴルフ倶楽部
- 対象者 本島 克幸・藤島 厚・石川 長司
小池 敏郎
- R 8. 4. 25 (土)・26日 (日) 第38回
全国ローターアクト大会
於・国立オリンピック記念青少年総合センター
- R 8. 5. 16 (土) クラブ・リーダーシップ・
ラーニングセミナー 於・安中市文化センター/並木苑
- R 8. 5. 20 (水) ~ 21 (木) 歴代地区
幹事会
対象者 小暮 雅丈 於・温もりの宿 辰巳館
- R 8. 5. 29 (金) ~ 31日 (日) 全国青少年
交換研究会福岡会議
対象者 荒木千津子 於・福岡
- R 8. 6. 2 (火) 現新会長・幹事会
於・太田グランドホテル
- 対象者 本島 克幸・藤島 厚・宮内 敦夫
小暮 雅丈・山本 樹・中世 吉昭

- R 8. 6. 13 (土) ~ 15 (月) 親睦家族旅行
於・台湾
対象者 本島 克幸・飯塚 一成・上野 和路
毛塚 宏・小池 敏郎・関井 宏一
関口 良幸・堀越 貴之
山本 樹
- R 8. 6. 14 (日) 台北国際大会地区ナイト
於・大三元
- R 8. 6. 19 (金) 最終例会
於・ニューミヤコホテル館林
- R 8. 7. 18 (土) ~ 19 (日) 第2回
IFMRジャパン大会 於・青森県五所川原市



藤島 厚 幹事

一 幹 事 報 告 一

- 例会場・例会時間の変更
 - ◆富岡かぶらRC
 - 3月10日 (火) → 休 会
 - 3月24日 (火) → 夜間例会 (米山奨学生送別会)
点 鐘 18:30
会 場 灯
 - 3月31日 (火) → 休 会
 - 4月14日 (火) → 移動例会
(富岡製糸場看板修復お披露目会)
時 間 11:30
会 場 富岡製糸場正門入口
※終了後に和采屋源氏にて昼食
 - 4月21日 (火) → 夜間例会 (お花見BBQ)
点 鐘 18:30
会 場 甘楽ふるさと館
 - 4月28日 (火) → 休 会
- 会報、週報
- その他
 - ◆ガバナー事務所
 - ①PELSに向けてのご案内
 - ②歴代幹事会開催のご案内
【日 時】5月20日 (水)・21日 (木) 一泊二日
登 録 16:30
会 議 17:00~18:00
懇親会 18:30~
※翌日朝食後、解散となります。
【会 場】温もりの宿 辰巳館
【会 費】お一人様 25,000円 (2名一室)
30,000円 (1名一室)
※宿泊費、二次会費、一次会までの

CP代含む

※二次会でのCP代は別途費用発生

※会費は当日お預かりさせていただきます

※懇親会までの参加の場合は樋口幹事まで
お問い合わせください

【対象者】小暮 雅丈

③第2回IFMR（ロータリー親睦活動グループ

バイク日本支部)

ジャパン大会青森五所川原開催2026のご案内

【日時】7月18日(土) 17:00～記念式典

18:15～大懇親会

19日(日)閉会セレモニー、

エクスカッション(昼食後解散)

【エクスカッション】龍飛マグツーリング

【ドレスコード】フリーですがIFMRのTシャツを
推進いたします。

※「オクトン」様にて販売中です。

【会場】ホテルサンルート五所川原

(記念式典・大懇親会)

ELM第二駐車場(閉会セレモニー・

エクスカッションスタート)

【登録料】ロータリアン 15,000円

パートナー・ご家族 8,000円

エクスカッション 3,000円

(参加者のみ)

【対象者】ロータリアン・パートナー・ご家族

◆館林商工会議所

「商工たてばやし No.507」

— 委員会報告 —

健康診断に関するお知らせ



プログラム・健康推進委員会 横田 善次 会員



出席委員会 小池 和敏 委員長

例会出席報告

通算3272回例会

会員数	52名
出席率算出会員数	51名
出席者数	29名
欠席者数	22名
出席率	56.86%
前前回修正	66.00%~78.00%



ニコニコBOX委員会 長柄 光則 委員長

— ニコニコBOX —

☆本島 克幸会長

大変頂きました

ニマ・ジー、ロータリークラブに来てくれてありがとうございます。また会いましょう。高橋様、杉本様、卓話ありがとうございます。

☆山本 樹副会長

大変頂きました

ニマくん、2年間ありがとうございました。これからもロータリーファミリーですので、いつでも来訪してください。高橋様、杉本様、本日は卓話お世話になります。

☆藤島 厚幹事

頂きました

本日は、助成金制度推進センターの高橋様、杉本様卓話はよろしく願います。また、ニマくん卒業おめでとう。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

☆小暮 高史会員

大変頂きました

松本会長年度に地区補助金を得て実施された分区、共同事業の「陽光ざくら」から芽吹いてきました。来週には開花宣言が出されると思います。ぜひお声掛けください。

☆小堀 良武会員

頂きました

長女が無事に大学を卒業しましたので。

☆羽鳥 紫乃会員 頂きました
ニマ君、ご卒業おめでとうございます。これからの
ご活躍楽しみにしています。また、助成金制度推進
センターの高橋さん、杉本さん、よろしくお願いい
たします。

☆小池 和敏会員 頂きました
先週の例会でボールハリスフェローをいただきました
ので。また長男の大学進学が無事に決まりました。
来月から夫婦2人のマンツーマン生活が始まり
ます。ニマ君、今までたくさん出席ありがとうございました。

☆安間 崇人会員 頂きました
ニマ君、卒業おめでとうございます。これまで学ん
だことを大切に、これからも自分らしく頑張ってく
ださい。

☆長柄 光則会員 頂きました
ニマ君、2年間お疲れ様でした。そして、卒業おめ
でありがとうございます。とても楽しく、貴重な経験をさ
せていただきました。いつでも館林に遊びに来てく
ださい。

— 卓 話 —



プログラム健康増進委員会 安間 崇人 委員長



助成金制度推進センター

高橋 和宏様
杉本 祥伸様



改めまして助成金制度推進センターの高橋と杉本と
申しますよろしくお願いいたします。我々は民間団体
となります。助成金というと、とても素晴らしい制度
になりますが、皆様のところまで情報が届いていなか
ったり、難しく取り組めないというお話をよく聞きます。
我々はこの助成金を専門に11年間取り扱わせてい
ただいております。今日はテーマとして助成金という
ことをお話させていただきます。

まず助成金活用に2パターンございます。1つ目は
助成金を活用していただいて自社で取っていただく自
社活用。取得していただいた助成金は返済の義務もあ
りません。また使い方は自由に使っていただけます。
そして国に対する報告の義務もありません。つまり皆
様にとって自由なお金が手に入り、経営に役立てられ
るというのが助成金の一番の使われ方になります。

2つ目は BtoB 企業向けのお仕事されている方が対象
になりますが、ご自身の会社ではなくお客様の会社に
助成金を取っていただくことをやっていただきますとお客様に資金が入りますので、その資金で皆様の
商売、サービス、機材の購入に貢献できる使われ方
となります。この二つの方法で助成金取得のお手伝い
をさせていただきます。本日はポイントを絞っ
て、お話をさせていただきますのでどうぞよろしくお
願いいたします。

適正に、継続的に、安心して。
概要・サポート実績

当センターは、「失敗のない申請にこだわった体制作り」で、
全国47都道府県の事業者様を対象に助成金の申請・受給のサポートを行っています。

理事長 : 藤田 剛	(2026年1月末現在)
理事 : 上宮 隆弘	■サポート地域 : 日本国内全域
理事 : 白石 健吾 (元議員秘書)	■相談数 : 40,302件団体・企業 (助成金対象企業)
顧問 : 田岡 春幸 (元厚労省政策統括)	■年間講演回数 : 数大約500回
	■申請サポート数 : 16,305団体・企業
	■相談実績のある企業・団体の助成金総額: 10万円~1億5,140万円
	■サポート支給総額: 約174億1,101万円
	■協賛数 : 800以上の団体・企業様

まず我々は助成金制度推進センターという名称で、
本部は京都にございます。今から11年前に立ち上げた

団体となります。それ以前、事業を実施しておりますのでトータルで15年間、助成金専業で実施しております。サポートのエリアは47都道府県となります。サポート企業数は1万6000社を実施させていただいてますし、金額でいうと174億円の助成金をお届けすることができました。助成金のみ実績では、おそらく日本でトップレベルだと思いますのでご安心いただければと思います。会社は40名ぐらいのスタッフが毎日、働いてくれています。我々は営業とか広報とかの機能は全くありません。全て口コミと紹介ベースでお仕事をさせていただいています。40名の仕事は助成金を取るために、ご要望をいただきましたら、書類の書き方や書類を出す前のチェックすることをしております。40名全員が助成金をいただくためのサポート業務にかかわっています。



それでは助成金の制度についてお話させていただきます。助成金は主に厚生労働省が管轄しているものが多くです。一部、国土交通省のものがあったり、市区町村、都道府県レベルのものがありますが、多くが厚生労働省のものとなります。助成金は国が解決したい施策に対して要件を満たした事業主に支給されることになっています。国が解決したい施策は何かというと、正社員を増やしたい、賃金を上げたいなどが毎年のテーマになっています。他に女性が働きやすい環境を作るや生産労働性の向上など、国の大きな流れに沿った経営をしている会社さんに対しては国からお金がプレゼントされる。これが助成金と思ってください。

助成金は皆様、どこからお金が出ているかというところ、大体皆様、税金と思われるかもしれませんが、雇用保険料が財源となっています。従業員さんがいらっしゃり、従業員さんが雇用保険の対象になっていれば助成金の対象となります。会社のスタッフさん、アルバイトさんでも雇用保険を払っているような従業員さんがいらっしゃる会社さんは、全て助成金対象になると思っていただいても間違いありません。雇用保険のお話をしま

すと、従業員の失業手当の財源と思われる方が多いのですが、事業主、社長さんからみますと、助成金を申請して受給できるような経緯になっています。従業員さんがいらっしゃり、雇用保険料を毎月支払っていると思います。その上で助成金を受給していなかったということは大変もったいないことですが、皆様の支払っている雇用保険料が、他の会社の助成金となっているということを意味しています。もちろん無理して助成金を受給するという必要は全くありませんが、当てはまる助成金があれば受給していただいて、経営に生かしていただくことがよろしいと思っています。助成金の一番重要なところは、補助金とは大きく異なりまして、要件を満たしていれば100%取得することができることです。落ちる受かるということはありません。やっていただくことが決まっていますので、それに沿って書類を提出していただければ、100%支給されることが、助成金の一つのポイントになっています。

	助成金	補助金
管轄	厚生労働省	経済産業省
財源	()	税金
申請対象	従業員	機器・システムなど
支給の決定方法	要件を満たしていれば () %	採択制
使用用途	()	限定的

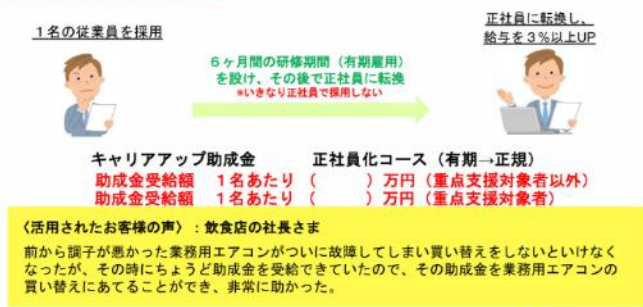
そこで助成金と補助金の違いをみていただければと思います。補助金に関しては、税金で財源が賄われています。助成金については、雇用保険料が財源になっています。申請の対象と書かれていますが補助金は機器、システム。例えばパソコンを変えましたとか工場設備を変えましたということとなります。助成金については、従業員が対象になってきますので、例えば従業員が妊娠しました、親御さんの介護が必要となりましたという場合は助成金の対象になってきます。

支給の決定方法、どうすれば助成金、補助金がもらえるようになりますかというお話になりますが、補助金に関しては採択制となります。いわゆるオーディション方式です。受かったり落ちたりしますし、受かるためには会社が良い決算書を出したり、事業計画書が必要となります。一方、助成金に関しては要件さえ100%満たしていれば支給することができます。例えば正社員雇ってください、お子さんの面倒を見るためのお休みの制度を作ってくださいな

ど、国がやってほしいことはもう全て決まっていますので、その通りやることをやっていただければ100%取得することができます。

使用用途は支給していただいたお金の使い道の話となります。補助金に関しては限定的となり、機器システムを例えば100万円で更新しました。行った場合に80万円補助金で戻ってきますというものが補助金の大きな仕組みになっています。一方、助成金の使用用途は自由です。例えば正社員を新しく雇ったら40万円支給するという助成金があったとします。そのいただいた40万円は何に使っていただいても大丈夫です。そして後の報告義務もありません。助成金のいいところとして、自由に使えて、報告義務のないお金が、数ヶ月もしくは1年後かもしれませんが、確実に入るとわかった状態で経営をしていただけることが、助成金の大きな強みになっています。

色々な助成金の種類

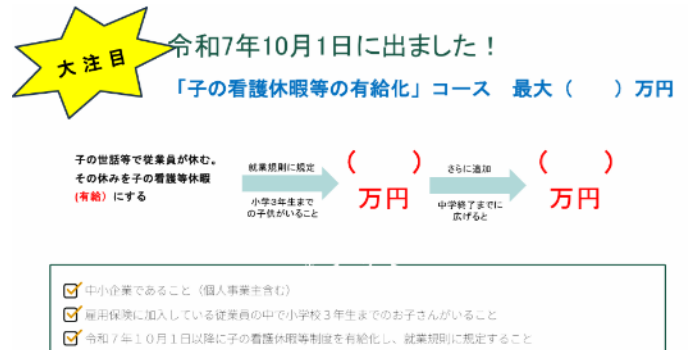


実際にどのような助成金があるかということで、いくつかお話させていただければと思います。一つ目は従業員をこれから雇おうと思ってる会社さんがあります。すぐに正社員にしないで半年間の研修期間を設けて、半年経った後に正社員にすることがあると思います。こちらは書類を出していただいたら1名あたり40万円支給されます。またある一定の条件をクリアするとプラス40万円。トータル80万円受給することができます。更にキャリアアップ助成金という助成金になりますが、今まで一度も取得したことないという会社さんが初めてこの助成金にチャレンジしましたという場合は、実はもうプラス40万円加算され、最大120万円となります。こちらは従業員を1人雇い始めたら120万円もらえますというような助成金になります。

資料をみていただきますと「飲食店の社長さん業務用エアコンが壊れてしまい、壊れたときに助成金の入金があり、そのお金を使って業務用エアコンを交換することができました。」良かったという声をいただいて

ます。これ何がいいたいかといいますと自由に使えるお金が手に入りますっていう例の一つになります。従業員を採用したら必ず従業員にその40万円とか80万円支払いするというのではなくて、会社にお金が入っていますので、お金を自由に使って経営をしていただくということが出来ます。

女性従業員が出産するようなことがあると思います。産休、育休を申請していただくと1名あたり60万円支給されます。あと、親御さんの介護であったり、お子さん、兄弟の介護ということもあると思います。そのようなときに介護するためにお休みが取れる制度を会社で作る、安心して働けるようにしてあげることが、国が求めていることとなります。こちらに対応していただき、実際にお休み取られる方がいらっしゃる場合、1人当たり40万円支給されると助成金がございます。



昨年10月1日に年度内にいい助成金が発表されました。こちらは子供の看護休暇等の有給化コースという助成金になりますが、下の要件を見ていただくとわかりやすい、中小企業であることが対象の一番条件になります。スタッフさん、アルバイトさん、従業員さん、雇用している方、働いている方の従業員の中でお子さんがいらっしゃるって、かつ、そのお子さんが小学校3年生以下のお子さんがある場合、対象の方が1人でもいらっしゃる場合、受給の対象になるものになっています。国はプライベートとお仕事を両立して欲しい、生活の質を上げてほしいと言っていますので、例えばお子さんが熱を出したとき、お仕事休まれることはあると思いますが、そのときに、お仕事を休めるように、子供の体調の問題、入学式・卒業式にお休みを取っていいという制度を会社で作ってあげてくださいと国は目指しています。実際にこのようなお休み制度を作るだけで30万円受給できます。更に小学校3年生から中学校卒業まで、お休み制度拡充してあげますとプラス20万円、合計50万円取得できる助成金が昨

年10月できました。お話したのは一部の助成金となりますが、全体では80個くらいあります。我々、様々な会社さんを見させていただいて、受給できる助成金を探す仕事をさせていただいています。

我々がお手伝いさせていただくとこのようになりますというイメージになりますが、例えば建設業の方、正社員が8名の会社になりますが、調査に入ったら3つほど助成金に当てはまりました。合計254万円の受給が可能ということで受給していただきました。254万円は雑収入になり利益となります。建設業の利益率が5%となりますので、254万円の利益は5000万円の売り上げに匹敵します。本業で利益を得ていただきながら、プラスアルファで、助成金制度を利用して利益を得ていただき、経営に役立てていただければと思います。

2019年、クリニック正社員2名と社員採用予定1名の個人事業主さんになります。こちらも調査に入らせていただきましたら、合計で201万円の受給が可能ということで受給していただきました。こちらもすべて利益です。

れていただくと、120万円になります。700万円のうち120万円です。その他のお金がどうなるかというと、毎年毎年、当てはまる助成金を申請し受給していくことで遅れますが入金がある状態が作れていきます。この例でいきますと本業以外に毎年4年間、一番少ない金額で120万円、一番多いとして912万円と本業以外の利益がある状態で経営が回っています。90名いる会社さんになりますので、大きい例になりますが、多くのお客様が毎年30万、50万と助成金を受給していただいています。

ここまでお話しをさせていただき、助成金の素晴らしところをお伝えさせていただきましたが、まだまだ活用が進んでいないところが多くあります。我々がご縁があってお手伝いをさせていただくようなことがあれば、こんなイメージでお話をさせていただきます。基本的に皆様の会社の状況をヒアリングさせていただき、対象の助成金は何かと調査させていただきます。こちらに関しましては一切お金をいただきません。調査させていただいた上で、対象の助成金を選別させていただきます。もし皆様が興味と思われたら、この様なお手伝いをさせていただきますと提示します。基本的には代行とか代理申請はさせていただいていないです。皆様の会社で書類を作成、申請していただき、提出していただくときにサポートさせていただく仕事をさせていただきます。安心していただきたいのは書類の書き方は我々の方でお伝えさせていただきます。この様に変えてください、必ず労働局に提出する前に書類の内容をチェックさせていただいて、完璧な状態にします。あと全体的なスケジュールと書類を可視化することもありますので伴走型で一緒にやらさせていただきます。以上をサポート内容とさせていただきます。

雇用助成金の活用例③

- 事業内容：フィットネスクラブ
(従業員数：約90名)
- 従業員の雇用状況に応じて複数のコースの助成金を毎年申請し、4年間で合計2,102万円支給
- ※申請時に要件に当てはまっていれば、助成金は毎年申請・支給が可能です。

年度	申請額	受給額
2017年	700万円	120万円
2018年	1,176万円	844万円
2019年	54.2万円	912万円
2020年	171万円	225.2万円
合計		2,102.2万円

助成金は、企業の様々な取り組みに活用できます。

新たな管理ソフトを購入！
採用費用に！
最新の教材を導入できた！

そして、フィットネスクラブで約90名のスタッフさんがいる事業者さんで4年間で合計2000万円を受給していただきました例があります。こちら2000万円は大きいと思うかもしれませんが、見ていただきたいのはそこではなく、右側の四角い表になりますが、2017年から2020年まで、毎年漏れなく受給していただいたお話となります。これは本当にすごいお話になります。

助成金におきまして1つだけ弱点があります。申請してから受給、つまり入金があるまで時間がかかります。半年から1年半ぐらいかかります。発想を変えていただければと思いますが、例えば2017年は、この会社さんは調査に入らせていただいたら、合計700万円受給できることがわかりました。それを申請してもらいました。実際に年度内に入ってくるのは右側に

サポート費用

例：正社員化コース（40万円）場合

	一般的な代行申請の価格帯	センター通常価格	紹介あり価格
着手金	10万円(税別)	—	—
サポート費用	—	12万円(税別)	()万円(税別)
就業規則	15万円(税別)	無料	無料
成功報酬 (相場20%)	8万円(税別)	無料	無料
合計	33万円(税別)	12万円(税別)	()万円(税別)

費用ですが社労士さんにお願ひしますと大体40万円を受給取得するのに33万円とか30万円とか少なくとも半分ぐらいかかります。我々の方は40万円受給する

ような助成金に関しては大体9万円ぐらいでサポート費用ということでやらせていただいています。30万円以上がお手元に残り、経営に役立てていただけるような状態を作っていくことを目指しております。何度もお伝えしているとおり、皆様の情報をいただきましたら、無料でどのような助成金が対象になるのかの調査をさせていただきます。ご興味があればご連絡いただければと思います。

最後になりますが、時間をいただきましたが、我々は助成金をお伝えしたいというところで、色々なところでセミナーをやらせていただいています。本当にこの良い制度を広める目的でセミナーをやらせていただいております。助成金の情報は行き届いてませんので、ご興味を持っていただきましたらお声をかけていただくと幸いです。本日はありがとうございました。

<本日のお食事>



菜の花とあさりの混ぜごはん



小池 和敏 S・A・A

- ◆例会日 毎週金曜日 12:10 より
- ◆例会場 ニューミヤコホテル館林（館林市文化会館内）
館林市城町 3-1 TEL0276-50-1541
- ◆事務所 館林信用金庫本店内
館林市本町 1-6-32 TEL・FAX 72-8181
- ◆E:mail tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

- 第 2840 地区ガバナー 竹中 隆
- 会 長 本島 克幸 副会長 山本 樹
- 幹 事 藤島 厚 副幹事 中世 吉昭
- 会報 委員 森田信一郎 斉藤 正人
- 発行責任者 本島 克幸 編集責任者 森田信一郎